

# 不要な服や靴 寄贈を

## 釧路信金、回収ボックス設置

釧路信用金庫（森村好幸理事長）は、女性職員のビジネスカジュアル導入に伴う制服廃止を受け、役目を終えた制服を海外での衣料品再利用やポリオワクチンの寄付につながるサービスマン「古着 de ワクチン」に寄付する。これに合わせ、15日から本店・南支店（釧路市北大通8）と西港支店（鳥取大通5）の2カ所に回収ボックスを設置し、衣類などの寄贈を呼び掛ける。

### 「古着 de ワクチン」へ

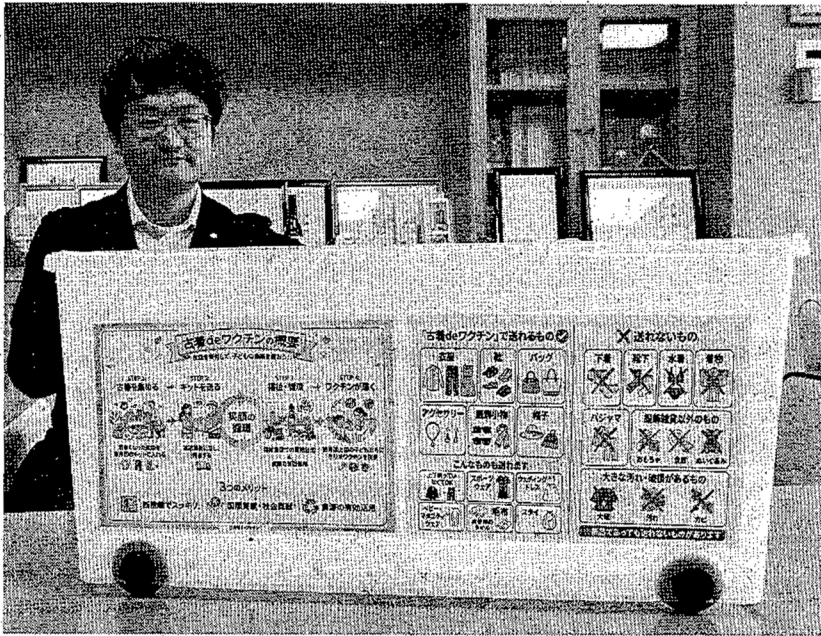
「古着 de ワクチン」は日本リユースシステム（東京）が運営。不要になった衣類などを寄付することで、手軽に部屋を片付けられると同時に、世界の子供たちへ社会貢献ができるサステナビリティーな取り組みだ。

寄付された衣類などは、専用の回収キットに梱包。1口につき最大20

どを受け付ける。下着や靴下、大きな汚れ、破損があるものは対象外。取り扱い時間は平日が午前8時45分～午後7時、土日祝日が午前9時～午後5時。設置期間は7月31日まで。

同庫では、約70人分の女性制服を寄付する予定で、石川晃平上席調査役代理は「まだ着られる衣類を寄付してもらうことで、さまざまな取り組みに貢献できる。捨てるのはもったいないと思う服があれば、ぜひ寄付してもらいたい」と話している。問い合わせは0154(23)9030へ。

（小西靖）



釧路信用金庫2カ所のATMコーナーに設置される衣料品の回収ボックス